



# 久留米工業大学

ソフトウェア・ハードウェア両面からのアプローチ  
世の中の動きに対応した最新システムの導入で  
知識・技術ともに社会で即戦力となる人材を輩出

## 久留米工業大学

<http://www.kurume-it.ac.jp/>

向野キャンパス

所在地:福岡県久留米市上津町2228-66

### 概要:

「人間味豊かな産業人の育成」をモットーに、知識・技術のみならず、人としての優しさや強靱な意思・精神力を身に付けることを教育理念とする同校。機械システム工学科、交通機械工学科、建築・設備工学科、情報ネットワーク工学科、教育創造工学科の5学科からなる工学部と、自動車システム工学専攻、エネルギーシステム工学専攻、電子情報システム工学専攻の3つの専攻を持つ大学院を備え、「実践的なものづくり能力」を磨き、「ものづくりの楽しさ」を発信する大学として、社会で即戦力となる人材を送り出しています。



久留米工業大学 工学部  
情報ネットワーク工学科 教授  
河野央氏



システムラボラトリー株式会社  
中神正二氏

1966(昭和41)年に前身となる久留米工業学園短期大学を創立し、自動車産業をはじめ、幅広い工学分野で活躍する技術者を多く輩出してきた久留米工業大学。現在は5学科からなる工学部と3つの専攻からなる大学院で、約1,000人の学生が在籍しています。

2016年で創立50周年を迎える同学では、2015年春に新教育棟「100号館」(テクノ未来館)を新設。8階にある情報ネットワーク工学科の演習室では、教育機関向けのVIP(バリューインセンティブプラン)のデバイスライセンス契約により、Adobe Creative Cloudを87台のコンピューターに導入、2015年4月から運用を開始しています。その導入を担当した情報ネットワーク工学科の河野央教授とアドビ製品の販売パートナーであるシステムラボラトリー株式会社の中神正二氏に話をうかがいました。

### コンピューターを刷新し、VIPのデバイスライセンスを採用

同校の情報ネットワーク工学科では、以前からAdobe Photoshop、Adobe Illustratorなどのアドビ製品を活用してきましたが、コンピューター48台という台数では学科の1学年全員が受講することができず、希望者が多いにもかかわらず履修制限を設けざるを得ない状況でした。それを解消するため、100号館(テクノ未来館)に新設された情報ネットワーク工学演習室では、合計87台のコンピューターを新しく導入。これまで使用していたAdobe Creative Suiteから、VIPのデバイスライセンスによる最新版のCreative Cloudに変更されました。

アドビ製品の販売パートナーとしてVIP契約の業務を担うシステムラボラトリー株式会社では、当初はCreative Suite 6 Master Collectionでの導入を提案していましたが、アップデートで常に最新版が使えるCreative Cloudのライセンス契約が2014年6月からVIPで開始することを知り、提案を変更。その契約方法には、特定のユーザーが利用できるユーザー指定ライセンスと、コンピューター1台ごとに1ライセンスが割り当てられるデバイスライセンスという2つの選択肢があります。同校で採用されたデバイスライセンスは、「多くの学生さんが入れ替わり使用する、演習用のコンピューターに適したものでした」と、同校担当者の中神氏。また契約期間も、2015年1月より1~4年の間で選べるようになったことを受け、最長の4年で契約。「先々の予算が確定でき、契約更新の手間もはぶけます。タイミング良く導入に間に合いました」

### コンプリートプランの導入でCreative Cloudが利用可能に

デバイスライセンスには、Photoshop、Illustratorなど約20種類のCreative Cloudアプリケーションがセットになったコンプリートプランと、アプリケーションを個別に選択する単体プランがあります。情報ネットワーク工学科では、コンプリートプランを採用し、そのすべてをインストール済みです。これについて河野教授は「将来“このアプリケーションが使いたい”という状況になったときに、即応できる環境を整えておきたかったんです。現在すべてが必要なわけではありませんが、よく使うアプリケーションもいくつかありますし、それらを単体で購入するより費用は抑えられました」と語ります。また「学生たちには、就職後の現場と同じバージョンを使わせたい」と河野教授。日進月歩の工学分野において、社会の動きに敏速に反応し、常に最新の環境のもとで学べることは、学生にとって大きな強みとなります。

また、アプリケーションのライセンス管理や、インストールおよびアップデートパッケージの作成などを専用の管理サイト(アドミンコンソール)から行うのもVIPの特徴です。同校では、システムラボラトリー株式会社と保守契約を結ぶことで、インストールとアップデートを含めたメンテナンスを同社に依頼。これまでのように大学の教員や事務職員の時間を取ることがなくなりました。「全部で90台近くありますから、インストール数をアドミンコンソールで一括確認できるのは便利でした」とシステムラボラトリー株式会社の担当者・中神氏。

## 実践に役立つ設備とアプリケーションで自主的な学びを支援

河野教授が教鞭を執る情報ネットワーク工学科には、ゲームやアニメーション等のコンテンツ制作で使用するCGを学ぶ「ビジュアルコンテンツコース」、ネットワーク技術やソフトウェア開発を学ぶ「ソフトウェアコース」、そして、2015年度入学者から新設された「ハードウェアコース」の3つのコースがあります。どのコースもソフトウェア・ハードウェア・ビジュアルコンテンツを多角的に学び、演習など実践的な授業を重視するのが特徴です。

2年生前期にビジュアルコンテンツコースで開講される「2次元コンピュータグラフィックス」では、PhotoshopやIllustratorを用いてポスターなどを制作。ここで習得したオペレーションは、後期に開講される「3次元コンピュータグラフィックス」といった3Dメインの学習をスムーズに進める基礎ともなります。このほか、Adobe After Effectsを使ったアニメーション制作や、Adobe DreamweaverでのWebサイト制作も講義に組み込まれています。「これらのアプリケーションは現場のプロが使用しているものと同じ。同じものを使うのだから、いいものが作れないわけではない。自ずと学生たちの制作意欲も上がります」と河野教授。また、課題の制作に当たっては「見た目の分かりやすさや使いやすさも重要」と、将来“仕事”として通用するものを制作するためのポイントも教えています。

これらの演習が行われる情報ネットワーク演習室には、コンピューター用のモニターを兼ねて約90台のペンタブレットが設置されました。この導入には、全学的なアクティブラーニングの環境を整えるという目的もありました。また新しいシステムの構築により、学生が使用しているコンピューターに教員が接続して画面に手を加えたり、複数人の学生が、それぞれの端末から一つのドキュメントを編集するなど、グループワークでの活用も可能に。「学生が主体となって学ぶための新しい試みなので、PBL (Project Based Learning) も視野に入れつつ、これから試行錯誤して進めていきます」と河野教授。

この演習室には、授業が行われていない空き時間にも、スタッフが1人在中しており、学生の課題制作や自主的な作品づくりをサポート。学内CGコンペも開催されており、学生たちがオリジナル作品を作るモチベーションの一つになっています。入賞した作品は、情報ネットワーク工学科専用のウェブサイトやFacebookで公開されています。

## 最先端の技術や知識に触れられる環境づくり

“実践的なものづくり能力”の習得を推進する同校では、3Dプリンターやレーザーカッターをはじめ、多様な工作機械・工具を備えた「ものづくりセンター」を設置し、スタッフがサポートに付いて学生たちの自主的なものづくり活動を支援しています。学生の取り組みも幅広く、金属加工や溶接・木工はもとより、CGを活用した3次元VRシステムなどプログラミングへの取り組みもみられます。また、新教育棟100号館（テクノ未来館）は、太陽光・風力発電だけでなく、太陽熱・地中熱の利用システムを備え、配線をむき出しにした「見える化」を行うなど、先進的なエコロジー設計を取り入れています。こういった最先端の技術に日々触れられる環境のもと、学生たちは実践に役立つ知識や考え方を身に付けていくことができます。



情報ネットワーク演習室



2015年2月20日に発表された、第4回学内CGコンペキャラクターデザイン部門で1位に輝いた情報ネットワーク工学科4年（当時）の浦田昂平氏の作品。PhotoshopとMayaの両方を使用しており、繊細な色調表現が見事。応募作品のレベルは年々上がっているそう。

### 使用したアドビ製品

- Adobe Creative Cloud

### 製品活用の主な利点

- プロが実際に仕事で使用しているアプリケーションが学べる
- 創造性を育むツールとして学生の学習意欲を高める
- 最新のバージョンに触れることで就職後即戦力に

### 製品に関する詳細は

<http://www.adobe.com/jp/jos/education/admin/etla.html> をご覧ください。

### お問い合わせ先

アドビ製品は、お近くのアドビ認定ディーラー（AAD: Adobe Advanced Dealer）でお買い求めください。AAD リストをはじめとする最新情報は、アドビ システムズのホームページ（<http://www.adobe.com/jp/>）で入手できます。アカデミック版および教育機関向け販売プログラムに関する詳細は、アドビ アカデミック コールセンター（tel.03-5350-7133）へお問い合わせください。

アドビシステムズ 株式会社  
〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー  
<http://www.adobe.com/jp/>

Adobe Systems Incorporated  
345 Park Avenue, San Jose, CA 95110-2704 USA  
[www.adobe.com](http://www.adobe.com)

Adobe, Adobe logo, Creative Cloud, Creative Suite, Illustrator, and Photoshop are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated, in the United States and/or other countries.

© 2015 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Printed in Japan. ASJST1319 6/15

